

「躍」



校長 津野 庄一郎

元号も平成から令和に改まり、気持ちを新たにした一年がまもなく終わります。毎年恒例となった今年の漢字で最も得票が多かったのは「令」という一字でした。先生方にお聞きしたら、ある先生は「楽」を、理由は生徒と楽しく授業できたからと言います。またある先生は「力」を、理由は「力の東新」に來れて嬉しかったからと話してくれました。皆さんは、今年一年を振り返って言い表す漢字一字を選ぶとしたら何でしょうか？

私は今年の教育活動を振り返ったときに、思い描く漢字は「躍」です。「躍進」とか「活躍」とか「躍動」の「躍」です。これを選んだ理由は、全校生徒一人一人が様々な場面でよく頑張り、勝ち負けを問わずいきいきと活動していたからです。その結果、個人として集団として、着実に成長していると感じています。もちろん日々の授業も同様です。また、その裏には親身になって指導・支援してくれた東新の先生方や職員の方の姿もあります。

さて、今年の生徒会は、目指す学校像を「生徒全員が協同で創る、充実した生活を送れる学校」とし、「晴都×生徒」というスローガンを掲げました。その願いは「晴れた都のように、爽やかに活気が溢れる学校を創っていきたい」というものでした。生徒会の各委員会の日常活動の充実、猛暑に負けない東風祭、新たに学年合唱にチャレンジした東華祭、女子バスケットボール部の北信越大会での活躍をはじめとする各部活動の取組、あすなろ卓球大会への参加など、目標を十分に達成できたと捉えています。皆さんはどうでしょうか？そんな数多くの

取組の中から、今回取り上げたいのは、特に「地域の方々とのかかわり」に見る皆さんの活躍です。少し振り返ってみましょう。一年生は、各地区で行われる防災訓練に参加し、地域を守る即戦力としての期待値を高めました。二年生は、職場体験に参加し、働くことの意味や社会人としてのマナーを学びました。三年生は、福祉施設訪問で、お年寄りに対して自分たちができることを実践しました。また、秋に全校で取り組んだ地域貢献活動（地域清掃）も、身近な地域に眼を向け、地域の方々と交流を広げる機会となりました。この他にも美術部は、沼垂まつりの灯籠の絵（白龍）を描いて参加したり、合唱部や吹奏楽部も沼垂桜まつりなど地域で行われる各種イベントに参加して、地域を大いに盛りあげました。

先日行われた笹口小・沼垂小・木戸小と東新潟中学校の先生方や地域の代表が集まった「教育ミーティング」では、「東新潟中学校区の目指す子どもの姿」と「オール東新潟のロゴマーク」の紹介がありました。そして、各校の特色ある取組を大切にし、一層つながりを深めていくことが確認されました。その話し合いの中で、多くの方々から、東新中の生徒に対する感謝と期待の声が聞かれ本当に嬉しく思いました。

日頃から様々な場面で、地域の方々に支えてもらっているわけですが、それに甘えるだけではなく、今後とも自分たちができることを、自分たちなりの方法で、精一杯取り組んで地域を支える皆さんであってほしいと願っています。二〇二〇年もスクールポリシーである「力の東新」の旗を掲げ、創立七十周年にふさわしい名門東新潟中学校をみんなの手で創っていきましょう。

